

川口の教育



文化庁「2023文化芸術による子供の育成推進事業（文化施設等活用事業）」を活用した取組
川口市立東本郷小学校

第653号

【目次】

- 指導の手引き 小学校・国語科「言葉による見方・考え方」を働かせる国語科の指導について
川口市教育局学校教育部指導課指導主事 佐藤 彰典 ……(2)
- 私の教育実践 「出会いから完成まで楽しいを持続する授業」
川口市立南鳩ヶ谷小学校 教諭 田村 光隆 ……(3)
- 令和5年度 第16回 川口理科オリンピック ……(4)
- 令和5年度 第75回 川口市中学校英語弁論暗唱大会 ……(5)
- 令和5年度 第51回 川口市児童・生徒・教職員発明創意工夫展 ……(6)

10 月号

—令和5年—

編集・発行 川口市教育委員会

1 はじめに

国語科では、「言葉を通じた理解や表現及びそこで用いられる言葉そのものを学習対象としている」といった他教科にはない国語科独自の特性がある。そのため、従前より学習指導要領では、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することが目標として掲げられている。

この学習指導要領の趣旨を具現化し、主体的・対話的で深い学びを実現させるためには、より一層、指導する側が単元で身に付けさせたい力を明確にすることや、効果的なGIGAスクール端末の活用を一端とする指導法の工夫改善が求められる。

ここでは、言語活動を充実させ、言葉による見方・考え方を働かせた授業例を紹介する。

2 授業例(1)

【学年】小学校2年生

【単元名】せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう。

【本単元における言語活動】(言語活動例B(2)ア、C(2)ア)

本単元は、「馬のおもちゃの作り方」の説明から、手順を示す文章の書き方を学ぶ。そこでの説明の工夫を使って、実際におもちゃ作りを説明する文章を書くことで理解を定着させる複合単元である。

【児童のもつ学習のゴールイメージ】

自分の書いた説明書を使って、1年生におもちゃの作り方を説明する。

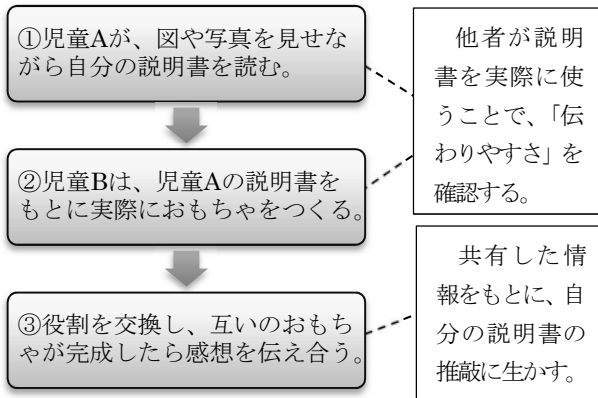
＜身に付けさせたい力＞(抜粋)

- ・ 順序が分かる言葉や絵、写真の有用性を実感し「馬のおもちゃの作り方」の内容を捉える力
- ・ 説明書づくりを通して、事柄の順序にそって簡単な構成を考えて書く力

【言語活動の工夫】

児童の興味や関心の高いおもちゃ作りの学習に、教科横断的な視点を取り入れることで、より相手意識や目的意識を高め、児童の主体的な学習を促す。さらに、説明書を推敲する学習では、目標に学びに向かう力、人間性等を設定し、体験活動を取り入れて児童同士の対話を支援する。

＜推敲の手順＞ ↓評価規準は主体的に学習に取り組む態度



3 授業例(2)

【学年】小学校4年生

【単元名】中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう。

【本単元における言語活動】(言語活動例B(2)ア、C(2)ウ)

本単元は、「世界にほこる和紙」を読んで、筆者の説明のしかたを捉えたり、要約をしたりする。この学習で学んだ知識や技能を生かし、百科事典などを活用して、伝統工芸について調べたことを書く複合単元である。

【児童のもつ学習のゴールイメージ】

自分で書いた伝統文化のよさを伝えるリーフレットを保護者に読んでもらい感想をもらう。

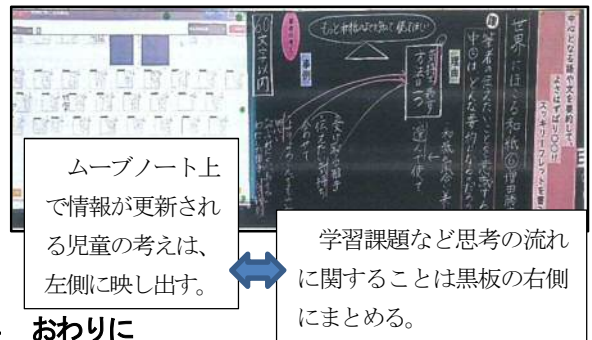
＜身に付けさせたい力＞(抜粋)

- ・ リーフレットづくりに生かせるように、「世界にほこる和紙」の文章から限られた文字数で、中心となる語や文を見つけて要約する力
- ・ リーフレット作成を通して、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫する力

【言語活動の工夫】

GIGAスクール端末の長所として、瞬時に児童一人一人の感想や考えを学級全体で把握できることがあげられる。この長所を生かし、要約をする学習では、教師がムーブノートで教材文を送付し、それぞれの児童の考えをマーカー機能で集計する。その結果を用いて、児童は他者の感じ方の違いやよさについて考えたことを共有する。さらに、自分の考えを加除修正する際も、添削作業が行いやすいタブレット入力の特長を生かす。

＜板書の様子＞ ↓視線の移動を最小限に抑える板書



4 おわりに

学習指導要領では、言葉がもつよさについて、「言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすること」、「言葉から様々なことを感じたり、感じたことを言葉にしたりすることで心を豊かにすること」、「言葉を通じて人や社会と関わり自他の存在について理解を深めたりすること」などがあると示されている。これら言葉のもつよさを児童が十分に実感できるよう、引き続き多くの実践を重ね、国語科の授業の工夫改善に努めていただきたい。

〈私の教育実践〉

「出会いから完成まで楽しいを持続する授業」

川口市立南鳩ヶ谷小学校 教諭 田村 光隆

1 はじめに



私は、趣味が「ものづくり」である。ただ、決して絵が上手であったり、手先が器用だったりするわけではない。自分が好きな物を自分なりに表現すること

や、家の中にピッタリ納まる棚や机を作りたいという思いを実現することが楽しく、完成した時に喜びを感じ、家族が喜んでくれることに満足感を感じるので「ものづくり」が好きなのである。そんな、暮らしを豊かにしていく、新しい物や価値を生み出す芸術教科である図画工作科をより子供たちに楽しんでもらい生涯を通して「ものづくり」をしてもらえるように日頃から授業改善に努めている。

2 授業実践

今回は今年度行った、4年生の「ふしぎな花」の実践を紹介する。

- ① まず、教師は、いかに子供たちが「ふしぎな花」を咲かせる（描く）ことに必要性を感じるか、わくわくするかを考え、最初に「ふしぎな種」を拾うという物語を設定する。
- ② 次に、子供たちは、いつ・どんな時にその種を拾ったのかを話し合い、紙粘土で種の作成を行う。
- ③ さらに、子供たちは、そこからどんな芽が出て茎が伸び、葉をつけ…と理科の学習を思い出しながら想像を膨らませて花全体を描いていく。
- ④ 最後に、子供たちは、その花はどんなところに咲いているのかといった世界観をクラスの仲間たちと対話して想像を膨らませる。

また、題材の導入では、子供たちに授業の流れを説明し、見通しをもたせ、その時間ごとに何をするのかを明確にして制作を進めていった。それによって、授業でよく見られる「早く終わってしまう子供」が減ったように感じられた。もう少しできないか、自主的に考えている子供も多く見られた。それでも手が止まってしまう子供には、教師が「これは何?」「ここは冷たいの? 熱いの?」など発問することで、新たな制作への意欲にもつながり、多くの子供たちが、満足する絵として表現することができていた。

3 おわりに

今回の私の実践はいかに子供たち全員が自分の思いを絵に込められるか、そして「完成した!」と満足感をもって最後まで制作に集中できるかの二つだけを考えて実践した授業であった。まだまだ課題もあるが、少しでもこの実践が参考になればと思う。




令和5年度 第16回川口理科オリンピック

1 日 時 令和5年8月9日（水）

2 会 場 各学校によるGIGAスクール端末によるオンライン開催

第10問

ヘチマには、おしべを持つお花、めしべを持つめしべがあります。ヘチマと同じように、お花とめしべに分かれている植物を全て選びましょう。



- ① カボチャ
- ② キュウリ
- ③ スイカ
- ④ アサガオ

30点

当日に出題された問題

第30問

熱を吸収する化学変化をなんというか、選びなさい。

- ① 冷却反応
- ② 低温反応
- ③ 入熱反応
- ④ 吸熱反応

30点



オンラインによる開催
出場者は各学校でGIGA
スクール端末を用いて解答

問題② 秩父地学実習

秩父にある岩畳が、写真のように見えるようになったのは、どのような影響からでしょう？

- A.噴火
- B.川のはたらき
- C.地震

これが岩畳



川口市立高等学校附属中学校

つまり240人

1学年80人のまだ卒業生が出ていない新しい学校です！
とにかく新しい学校です！
詳しくは調べてみてね

附属中クイズスタディー部による学校説明とクイズ



小学部大会第1位 飯塚小学校Aチーム



中学部大会第1位 川口市立高等学校附属中学校Dチーム

市内の学校（小学校51校、中学校17校）からあわせて229チーム、500名が参加しました。

3 結果（50点満点）

○小学生	第1位	飯塚小学校	Aチーム	(47点)	同点のため、順位決定戦を行いました。
	第2位	芝富士小学校	Bチーム	(47点)	
	第3位	芝小学校	Cチーム	(46点)	

※平均点：34.0点

○中学生	第1位	川口市立高等学校附属中学校	Dチーム	(42点)
	第2位	安行東中学校	Aチーム	(40点)
		戸塚西中学校	Bチーム	
	第3位	芝中学校	Aチーム	(39点)
川口市立高等学校附属中学校		Cチーム		

※平均点：31.1点

開催にあたり、公益財団法人川口市公園緑地公社・川口市立科学館よりご協力をいただきました。

令和5年度 第75回 川口市中学校英語弁論暗唱大会

令和5年9月13日（水）SKIPシティ 映像ホール

今年度は、弁論の部18名、暗唱の部23名、合計41名が出場しました。生徒たちは、会場の参会者に向かって、自分の考えや思いを存分に英語で表現しました。生徒たちの挑戦と努力を讃えるとともに、指導者の皆様、そしてご家庭でご支援してくださった保護者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

◆弁論の部	1位	附属中	加藤 千桜 (3年)	県大会出場
	2位	里中	加瀬 桃香 (3年)	県大会出場
	3位	青木中	承 珊宇 (3年)	県大会出場
	//	芝東中	古郷 寛 (2年)	
	//	戸塚西中	荒沢 舞桜 (3年)	
	//	領家中	苗代 唯花 (3年)	
	//	安行中	クイン モック (3年)	



第2位

“Gradation”



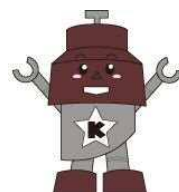
“Challenging the Impossible”



第3位

“Far From the motherland”

◆暗唱の部	1位	南中	ラムモリス カイアン (3年)
	2位	幸並中	松尾 紗良 (2年)
	3位	領家中	小林 咲輝 (3年)
	//	八幡木中	藤原 友香 (1年)
	//	青木中	名越 理乃 (3年)
	//	上青木中	萩原 露咲 (3年)
	//	八幡木中	根本 沙麻 (3年)



第2位

“Thumbelina”



第1位

“Urashima Taro”



第3位

“Snow White”

令和5年度 第51回川口市児童・生徒・教職員発明創意工夫展

発表の部



表彰式



作品展示会

令和5年9月16日(土) 17日(日) 20日(水)
於：川口市南平文化会館2階展示ホール

本年度も皆様のご協力のおかげで、
創意工夫のある素晴らしい作品が集まりました。

また、教職員の部では、芝樋ノ爪小学校 諏訪正太郎 教諭が特選を受賞されました。おめでとうございます。

